

「目的は1人で達成するものではない」

参考著書「人生の目的に気づく24の物語」中山和義著より

三鷹青年会議所のメンバーで自衛隊に研修に行ったときの話です。
自衛隊の研修は思った以上に厳しかったのですが、特に指導されたのは時間を守ることでした。
集合時間はもちろん、食事の時間や就寝時間も厳しく管理されていました。

「戦闘時、誰かが1秒遅れたら、部隊の撤退も1秒遅れることになる。それが原因で、飛んで来た爆弾で全滅するかもしれない。だから、時間を厳守するように。もし、誰かが遅れたら連帯責任だ。1秒遅れるごとに、全員で腕立て伏せを10回やってもらう」

と教官から言われていました。

1日の研修の最後に行われたミーティングでは、
「明日の朝7時から研修を行う。朝7時に装備をと整えて、グラウンドに集合。誰かが遅れたら解
っているな」

と言われて解散になったので、私たちは絶対に遅れないように、お互いに起し合うことを固く約束して眠りました。

次の朝、放送用のマイクから、

「臨時集合、今から10分以内にグラウンドに集合」

という号令が聞こえて目が覚めました。時計の針は、朝5時を指しています。急いで自分の装備を整え慌ててグラウンドに集合しましたが、2分ほど遅れて来たメンバーがいました。教官は時計を見ると、

「腕立て伏せ用意、1200回、いーち、にーい」

と号令をかけ始めました。

みんなは「どうして遅れたんだよ」と遅れたメンバーを恨めしそうに見ながら腕立て伏せを始めましたが、やがて、全員が力尽きて倒れました。

それを見届けた教官が、

「一番、悪い奴は誰だったと思う？」

と質問をしました。

みんなは再び、いっせいに遅れて来たメンバーを見ましたが、その様子を見ていた教官は、

「まだ、分からないようだな。一番悪い奴は、最初に来た奴だ。最初に来た人間は遅れている人を助ける事ができたはずだ。お前らは仲間だろう？」

仲間を助けようとしなから、結局は自分も辛い思いをするんだ。

一人の力では限界がある。目的は1人で達成するものではない。みんなで達成をするんだ」

と話しました。

コメント

忙しい状況に置かれると、自分のことばかりに注意がいつてしまっていて、本当に困っている人が見えなくなります。「自分は悪くない」「一生懸命に生きているのに、どうしてこんな目に遭うんだ」と感じる時は、是非周りに目を向けてみて下さい。

学習塾の先生から聞いた話です。受験が近くなって、休み時間に自分の勉強を必死にやっている子供よりも、他の子供に、「分からないの？ それはこうやればいいんだよ」

と教えてあげる子供の方が、理解が高まり合格するそうです。

困っている人を助けることは、結局自分を助けることになるのではないのでしょうか？

もしかしたら、人を助けることで大きな目的を達成できるかもしれません。